

# コロナ禍で困難を抱える女性支援事業【神戸市】

総事業費	5,802 千円
交付金額	4,351 千円

## 地域の実情と課題

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとして、就業面から生活面にわたって困難・課題を抱える女性の問題が顕在化しているが、孤独・孤立で不安を抱える女性に対して、社会とのつながりの回復に向けた支援を行うため、専門相談支援等による相談環境の充実を図る。

## 目的・目標

- ・就業面から生活面まで、支援をもとめる女性に対し、個々の事情に寄り添った専門的相談支援を、継続的に実施。
- ・専門相談の件数は令和4年度を上回り、より具体的な支援に結びつけることができた。

## 事業の特徴

- 生理用品を公共施設や学校等で配布し、電話相談や相談会への参加のきっかけとする。
- 相談会等で、就業面から生活面まで、困難や課題を抱える女性たちへの専門相談支援を行い、女性の悩み全般について受付、孤独・孤立にならないよう継続的に支援を行う。

## 連携団体

- ・NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ
- ・NPO法人ゲートキーパー支援センター
- ・兵庫県マザーズハローワーク
- ・兵庫労働局
- ・市立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)
- ・ひとり親家庭支援センター
- ・DVセンター
- ・その他民間シェルター 等

## 事業の効果

夜間電話相談 相談件数 125件  
 相談会 来場者 256名 専門相談件数120名  
 女性のためのホットスペース利用者 99名  
 これまで困難を抱えながら、相談先が分からなかったり、相談しづらかったとの女性の声があったが、本事業の実施により相談ができ、個々の情報に寄り添った支援となった。

## 今後の課題

令和5年度は、当事業専用の相談電話を導入し、一定の利用はあったが、件数が想定していたほどではなかったため、令和6年度は、既存の男女共同参画センターで実施している、心に不安や悩みを抱える女性のための電話相談へ繋げたい。

## 事業の概要

### ① 専門相談窓口につなげるための電話相談の実施（NPO等に委託）

令和4年度は、若年層が相談しやすいSNS相談を新たに実施し、若年層の利用も一定数あったが、全体として登録者数、相談件数とも少なかった。一方、男女共同参画センターにおいて、心に不安や悩みを抱える女性のための電話相談を実施しているが、1回線しかなく、つながりにくい状況が続いているため、令和5年度は、新たに当事業専用の相談電話を実施。

### ② 各種専門家による相談会の実施（NPO等に委託）

生理用品・生活用品（寄付品）等の配布や子供向けイベントとセットで、弁護士、司法書士、看護師等の各種専門家による「無料専門相談」を実施し、専門相談につながっていない対象者の来場を促し、相談につなげる。

### ③ 女性のためのほっとスペースの実施（NPO等に委託）

②を開催しない月に、つながり支援を継続するための臨床心理士などによる「無料専門相談」と少人数でのおしゃべり会等を実施。

### ④ 購入した生理用品を公共施設や学校等で配布（NPO等に委託）

電話相談や相談会の情報を記したカードを添付し、公共施設や学校等で配布し、相談につなげる。